

所属	経済学部	身分	教授
氏名	栗山 啓一		
NAME	keiichi kuriyama		

1. 研究課題

(和文) ルネッサンスにおける commonplace books について

(英文) On Commonplace Books during Renaissance

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目

(和文)

Commonplace-books(コモンプレイス・ブック ; 名句抜粋帳)は、多数の引用文、しばしばラテン語の引用文を収集し、様々な項目の下に配置したものである。謂わばことばを蓄えたもの(verbal nest egg)である。これは生徒に良質の文学や道徳を教えるのを使命とするグラマースクールの人文主義を信奉する教師のお気に入りの補助教材で、生徒は授業中自前の「抜粋帖」を手元において、教師の示す真正の教訓的な古典ラテン語のことばを書き留め、暗記した。生徒はこれらの〈ことばの蓄え〉を適宜取り出し「課題作文」をこなした。学業の強力な武器とした。コモンプレイス・ブックの雛形を世に広めたのは他ならぬ当代随一の人文主義者、エラスムスであった。De copia, 1512 から抜粋された〈コモンプレイス・ブック〉論は、他の人文主義教師(R.アグリコラ、P.メランヒトン)の同様な文章と併せて出版された。

① オランダ(フローニンゲン)の人文主義者 R.アグリコラは、  
1484年、ハイデルベルク(独)で起草した6月7日付の書簡(De formando studio epistula. 1508年印刷)を友人のひとり、J.バルビリアヌスに送った。

② Ratio colligendi exempla「範例文収集法」は、エラスムスの De duplici Copia『文章用語論』の一部である。初版は1512年、パリのバード書店から上梓された。

③ De locis communibus ratio「範例文抜き書き帳作成法」はP.メランヒトンの『修辞学』3巻(1521)から取り出して出版された(1531)。

De Formando Studio『学習の手引き』のタイトルの下に以上の三論文の合冊本が1532年にアントウェルペンで出版された。ルネッサンスのコモンプレイス・ブックに対する知の要請を見抜き、51頁の小冊子に結実させた編者の眼力を如実に表わしている。

(英

Commonplace-books were collections of happy expressions, arranged under many heads. Commonplaces were verbal nest eggs which were powerful formative influence on every grammar school boy. De formando studio (Antwerp, 1532), the earliest formal Renaissance treatise on commonplace books, namely, De formando studio epistula (R.Agricola), Ratio colligendi exempla (D.Erasmus), and De locis communibus ratio (P.Melanchthon).

4. おもな発表論文等（予定を含む）

【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）

【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）

【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）

【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）